

平成28年度第1回弘前市立図書館協議会

◆平成28年8月1日（月）10：30～

◆岩木庁舎2階 第3会議室

◆出席委員：松本委員長、高嶋委員、工藤委員、竹内委員、境委員、田澤委員、成田委員、島田委員、渡邊委員（全9人出席、欠席なし）

◆図書館側：伊藤図書館長、三上岩木館長、神相馬館長、柴田図書館長補佐、田澤総務係長、相馬主幹兼サービス係長

	(委嘱状交付式、教育長あいさつ、組織会 省略)
委員長 相馬主幹	これより、平成28年度第1回弘前市立図書館協議会を開会いたします。それでは、本日の案件について事務局より説明をお願いします。 (資料説明省略)
委員長	案件1から案件3まで一括でご説明頂きました。まとめてで構いませんので、何かご質問・ご意見等ございましたらどうぞ。
委員 柴田補佐	図書館利用状況の登録者数とは、その図書館で新たに図書カードを作った人ということですか。 図書カードは共通ですが、それぞれで受け付けしたという区分で数字を出しております。図書カードを最初にどちらでお作りになったかという資料です。
委員 相馬主幹	こども絵本の森の貸出者数、相馬ライブラリーなどの貸出者数が増えているという事ですが、27年度で増えた理由は何ですか。 こども絵本の森はヒロロ全体での集客やブックスタート等の取り組みにより増えているのだと思います。
神館長	数字では微増ですが、特に何らかの事業を行なっている訳ではなく、平成25年度に施設が新設されたので、それに伴って利用者が徐々に増えているということだと思います。
委員 相馬主幹	図書の購入リクエストは20冊までと聞きましたが、その後変更がありましたか？ 平成28年度から12冊までです。
委員	学校図書館の訪問事業で1校とありますが、新しく学校を建てたことで図書館が助言や協力をした、という意味での1校ですか。新しい学校

	<p>ではない場合は、図書館と学校が全く関わりないことになるのでしょうか。</p>
柴田補佐	<p>平成26年度には西小学校から要請がありまして、司書が2名協力しています。また、県立図書館も同じような事業を実施していて、松原小学校が手を挙げたところに当館の司書が同行しています。この事業は少しずつ学校側に認識をしてもらっていて、今年も2校行く予定で、徐々にですが増えています。</p>
委員	<p>図書委員会というのもあつたりしますので、図書館との協力を強固にしてもらえば嬉しいことじゃないかなと思います。</p>
委員	<p>1団体につき10人以上とありますが、例えばどういう団体ですか？</p>
相馬主幹	<p>児童館、おはなし会、学校、児童福祉施設、老人福祉施設などです。</p>
委員	<p>選書して運んでもらって、回収も行っているのですか。</p>
相馬主幹	<p>移動図書館車のコーナーで選書してもらい、取り決めた配布日に運んで、2~3ヶ月後に回収という流れが一般的です。</p>
委員	<p>この仕組みがあまり知られてないのかと思ひまして、あまり宣伝していないのでしょうか。</p>
柴田補佐	<p>このサービス自体はほとんどこの図書館も行っています。100冊を1ヶ月でローテーションしたり、学校で決めてもらったテーマに沿って図書館で選書したり、最大300冊3ヶ月として利用者側の希望に沿った形で対応しています。もう少しPRします。</p>
委員	<p>利用の団体で、家庭文庫というのは今弘前にありますか。もし数が把握できていればお教え頂きたい。</p>
柴田補佐	<p>近所の方々に利用して頂くためにご家庭に借りた本を並べる家庭文庫は、記憶では3~4件あると思います。</p>
委員長	<p>私から2点よろしいですか。投書への対応で、これを踏まえて改善したようなことがあれば教えて頂きたいという事と、レファレンスで郷土に関する事411件というのは非常に多いという印象がありますが、弘前の図書館の特徴でもありますので、何か具体例があれば教えて頂きたい。</p>
相馬主幹	<p>投書への対応ですが、こういう本を買ってほしいという希望に対応できるものは反映しています。職員の対応では、もう少し笑顔が欲しいというご意見や挨拶頂いてありがとうございますとといったお褒めの言葉などを頂いています。</p> <p>レファレンスの方ですが、最近多いのは祖先調べ、弘前にこういう場所があるかという問い合わせ、藩庁日記などへの照会が多く、県外、関西、九州からの問い合わせもあります。</p>

委員長	今の内容と関連するかもしれませんが、小中学校への図書の個別貸出が39校あったという事で、郷土や地域のことを深く知りたいという学習の一環として使用されたと思いますが、何か具体例があれば教えて頂きたい。
相馬主幹	小学校では、国語の授業の一環として宮沢賢治に関するものを一クラス分貸してほしい、技術家庭の関係で夏休み前に野菜や花の栽培の仕方の資料として自然科学の分野で本をお願いしたいという事例があります。調べ学習に使用したいという申請が一番多いです。
委員長	学校の先生方への告知はどのようになっているのですか。
相馬主幹	ホームページで発信しています。他は、広報にPRを載せています。
委員	私も朝陽小学校で読書おすすめ隊というものをやっています、テーマを決めて図書館貸し出しを利用しています。そういう活動をしている学校は繰り返し利用しているでしょうけれども、市の司書の方が増えたりして、学校の先生方と連携して繋ぎ役になって頂けたりすれば、もっと活用されていくと思います。
委員	はとぶえ号は、今どこに行っているのですか。
相馬主幹	現在は23ヶ所で、もう1ヶ所増える予定です。
委員長	頻度はどのくらいになるのですか。
相馬主幹	2週間に1回ずつのペースです。実際の運行日は火・水・金・土曜日です。車を止めておくスペースの都合で、駐車場の広いスーパーなどを利用しています。
委員	リサイクル図書事業で、小学校が4校とか中学校が3校というのは、指定してお渡ししているのでしょうか。それとも、各学校または公民館が希望してこちらへ来ているのですか。公民館が6館というのも少ないのではないか。
相馬主幹	小学校は4～5年に1回ずつ、サイクルを決めて行っています。
柴田補佐	児童書は大変人気がありますが、一般書がなかなか持って行ってもらえていないので、今までの学校や公民館だけによらず、例えば市立病院にもPRしようかと考えています。処分するというの一番したくない方法なので、是非リサイクルして頂きたいと思います。
委員	公民館では、読み物もさることながら実用書と児童書の人気が高く、行ってみるとすごく難しい本ばかりが並んでいて、なかなか手を出せないような内容のものがリサイクル図書として山積みになっているのが現状だと思っています。もう少し本を本当に必要な所にリサイクルとしてお届けできるような仕組みがあってもいいのではないかなと感じています。

委員長	リサイクル図書事業を各学校や公民館図書室の整備とセットで考えていった方がいいという事にもなるかもしれないですね。
田澤係長	その他よろしいでしょうか。それではこれをもって案件1、2、3を終了いたします。続いて案件4について事務局から説明をお願いします。 (資料説明省略)
委員長	ただ今の説明に対して、ご質問ご意見等ありましたらお願いいたします。
委員	私が知らないだけかもしれませんが、弘前城や昔の殿様をテーマにして漫画化してみたらどうでしょうか。古文書講習会もありますやはり壁を感じるので、子どもも読んでくれると思うし、それをやって頂けたら是非読んでみたいと思います。
柴田補佐	今後、貴重資料のデジタル化に取り組んでいきます。漫画ができることは断言できませんし、少し年数もかかりますけれども、学校の子どもたちを対象にして分かりやすいものを作ろうという機運にもなっておりますので、デジタル化を進めるうえで貴重なご意見として参考にさせていただきます。
委員	ブックスタートがここ2年で始まりましたが、葉書を出して連絡した人の内、何%くらいの方が取りに来たのでしょうか。
相馬主幹	80%を超えています。
委員	無料でもらえるものでも2割は来ないのですか。
相馬主幹	期間は過ぎてしまったのですけれども、取りに来てくださいと連絡したのも含めて、80%を超えています。
委員	自分もブックスタートを利用させてもらいましたが、もう少し選書する段階で大きな団体さんでの選書だけでなく、身近な人の選書も考えてもいいと思います。
委員	資料を見ると、弘前図書館、ヒロロの絵本の森、相馬館、岩木館がそれぞれに事業を行っていますが、総合的に4館が一つになって行なうような事業は何かないのでしょうか。地域性というか、それぞれの利用者の性質などがあって別々のイメージがあるのですが、せっかく統合されたことですし、一緒に何かやる意識はあるのでしょうか。
柴田補佐	反省すべき点だと思います。こちら側としてはそういうつもりはなかったのですが、利用者の方々にそういうことを感じさせたのであれば、もう少し情報共有し、一体感を出したうえでPRしていきたいと思います。
委員長	例えば岩木図書館では図書館祭りというイベントがあるようですし、

<p>委員</p> <p>伊藤館長</p>	<p>今年度では難しいかと思えますけれども、他の図書館でこういうイベント的なものがあれば、双方乗り入れできる場所があれば、やってみてもいいと思います。</p> <p>図書館ボランティアの活動が重点事項として掲げられていますけれども、その狙い、どのような考えで掲げられているのかお伺いしたい。</p>
<p>委員長</p> <p>相馬主幹</p>	<p>図書館ボランティアの活用については、今現在弘前市では読み聞かせの団体が7団体、閲覧関係のボランティアが11人にお世話になっている状態です。他館の事例では、ボランティアがかなり活躍している所もあり、市民が活動する図書館は活気があるという情報を頂いております。弘前もなるべくそちらの方に近づけていければ、という事もありますし、図書館が好きな人だけの図書館でしかないような現状ですので、市民と図書館が一緒になって向上していきたいと考えています。</p>
<p>委員長</p> <p>伊藤館長</p>	<p>市民が活躍する図書館を目指すという事ですが、例えばボランティアの方々に対する支援の仕組みみたいなものがありましたら教えて頂きたいと思います。</p> <p>行政側の方で用意しているボランティア保険を利用しています。他に弘前図書館では、ボランティア活動の際には駐車券を無料にしています。</p> <p>例えば研修のような、ボランティアや市民が自分の力を高めることができるような支援の在り方があってもいいのかなと思います。今年度もしそういうことができる余地があれば、やって頂いた方が良くと思います。</p> <p>それと、重点事項でデジタル化にも積極的に取り組むとありますが、これをイベント化、例えば弘前城を皆でデジタル化してみようという講座、体験のようなものを作るとそれなりに人が来るのかな、と思いついて、参考にして頂ければと思います。</p> <p>それでは、これをもって案件4を終了します。次に、案件5の説明を事務局からお願いいたします。</p>
<p>委員長</p> <p>伊藤館長</p>	<p>(資料説明省略)</p>
<p>委員長</p> <p>伊藤館長</p>	<p>ただいまの説明に関して、何か質問等ございませんでしょうか。</p> <p>「弘前市立図書館・郷土文学館のあり方」というこの資料は、どういう位置付けになるのでしょうか。つまり、この方向性に基づいて指定管理をお願いするということになるのでしょうか。</p> <p>募集要項等の参考資料としてこの「あり方」が添付される予定です。なおかつ、「あり方」に関し推進していく項目がこの募集要項の配点のうち、かなりのウェイトを占める内容になっております。ですから、応募</p>

	<p>する団体はこの「あり方」に基づいた提案をして頂き、それによって評価が定まります。</p>
<p>委員長</p>	<p>この資料が、今後の弘前市の図書館のあり方を巡って大きな意味を持つものだという事になりますが、何か質問でもご意見でもありましたらどうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>話を聞きたいとか、応募したいとかいう所は来ていますか。</p>
<p>伊藤館長</p>	<p>中央の、全国的にシェアを占める業者が来ております。</p>
<p>委員長</p>	<p>募集の枠組みの所で、地元団体を基本的に含めようとしているということですが、図書館の管理運営はやはり専門性が問われると思うので、市の指定管理の説明に基づいて管理運営できるかどうかが重要で、必ずしも地元が優先されることはないのではないか、というのが私個人の意見ですが、何か理由があればお教え頂きたい。</p>
<p>伊藤館長</p>	<p>今、委員長さんからご指摘があった事は、色々な方々に議論して頂いたところですが、100年以上も経過している弘前図書館の歴史というものに価値を感じている方もおられますので、そういう方にとってみれば、やはり地元の業者も含めた形の運営が望ましいという意見があります。それから地元が入ると、地元の長所を生かした事業も出てくるのではないかという考え方もありますので、地元は外せないということが最終的に残りました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も新聞でしか指定管理についての市民の声をまだ聴いていなくて、これからのことも館長から説明を受けてなるほどと思った次第です。指定管理に業者が入ることも、弘前の場合は、県内で三沢市やつがる市など先駆けてやっている所の色々な意味で後追いとして、良い形で持って行けるかどうか、メリットデメリット含めて皆で考えていける、その中にボランティア、団体も含め個人も募集しながら皆さんの声を聴きながら進めていって下さるのかなと思って、今日この席に来られたことを感謝します。地元を大切だと思っている人の気持ちも汲みながらですけども、合理的な流れの中でデジタル化も含めてプロに任せの方が効率的な所、学校図書に関しては特に司書がとても少ないという部分を図書館の中の司書資格がある方、そして学校図書について色々な意味で是非プラスに動いていくことを希望します。</p>
<p>委員長</p>	<p>指定管理に関しては、館全面的に指定管理するという事ですか。</p>
<p>伊藤館長</p>	<p>いえ、一部除きます。特に大きいのは、古文書関係の事務は直営になります。あと管理部門ですが、追手門広場一帯が施設管理一括業務になっていますので、そこも直営になります。</p>
<p>委員</p>	<p>そうすると、指定管理者に一切任せて市民の声が届かなくなる訳では</p>

	<p>なくて、直営で教育委員会が直接意見を通して頂きながら進めていけるのでしょうか。</p>
伊藤館長	<p>図書館協議会と郷土文学館運営委員会は、事務局が教育委員会になります。その場ではしっかり意見を吸い上げ、皆様方の意見を伝えていけると思います。</p>
委員	<p>今後のスケジュールはこれでもう絶対なのですか？</p>
伊藤館長	<p>あくまでも予定になります。もし8月上旬の審議会で案が通らなければまたやり直しになります。</p>
委員	<p>まず一つは、進行状況が市民の方々に伝わるようになるのか、意外と知らない方が多いと思います。図書館を利用しない人は知らないままで終わってしまうという状況がありますし、広く市民が分かって、逆に分かったがゆえに利用者が多くなる方がいいなという希望を持っているので、良い感触の告知をしながらソフトタッチでやって頂けたらと考えています。</p> <p>それから、私自身はボランティアという形で図書館と関わっている方の人間なのですが、今回のことはボランティア側に全く影響のないことなのでしょうか。</p>
伊藤館長	<p>まず一つ目、情報発信の件ですが、今まで通りの情報発信であるとやはり弱い部分があるかと思います。その辺は、指定管理者応募の段階でアイデアを頂いていきたいと考えています。</p>
委員	<p>決まってから教えるのではなくて、進行状況も教えて頂きたいと思います。</p>
伊藤館長	<p>それはしっかり教えているつもりです。一般の方に教えるものは、決まったものでないと行政としては開示できませんので、その辺りはご理解頂きたいと思います。</p>
委員	<p>それから、ボランティアの関わりですが、今までもお付き合い頂いている関係はそのまま継続していきたいという思いでおりますし、またボランティアを募集しながら、ボランティア制度を拡充させていきたいという思いもございます。ボランティアを通して市民の意見を取り入れながらサービスを向上していきたいので、ボランティアとの関わりには力を入れたいと思っています。</p>
委員	<p>ボランティアは無償ですが、ボランティアを利用しているところの業者のイメージもどうなのかという思いが自分の中でずっと気にかかっています。ボランティアをしたいという純粋な気持ちでやっている人たちと、管理している業者との気持ちのずれを、どう教育委員会の方でフォローしてくれるのでしょうか。保険の加入などはしてくださっていると</p>

伊藤館長	<p>は思いますが、これから先、繋げていくためにも、ボランティアの人たちが気持ちよく活動していくためには、待遇の面でどうしたらいいのかと私自身考えています。商売的な図書館運営とならないか不安です。</p> <p>我々が描いている今後の図書館のあり方に近づけたいという気持ちはあるので、そのためには三者一緒になって協議しながら進めていきたいと思えます。</p>
委員	<p>ボランティアは、結構立場が弱いです。業者や行政から「こうやってください」と言われると、なかなか意見が言いにくいという気がします。私自身も皆さんの意見を聴きながら、会議の場で意見を出していきたいと思えます。</p>
委員	<p>委員長含め、皆が間に入って本来のボランティアの活動や市民の方の意見を聞き入れるような、座談会・茶話会のような場面もこちらから提供しながら、そこを教育委員会の方に伝えていけるような、そういう繋ぎ役の立ち位置になれることを期待しています。</p>
委員長	<p>ボランティアと言った時に、ただのお手伝いになってしまうとやりがいもなくなってしまいますし、それに限らず、どこまで主体的に事業運営に関われるかというところだと思いますので、待遇の問題ももちろんあると思えますけれども、皆さんの意見を運営に反映できるのかどうかという意味での市民参加をどう指定管理者制度の所で果たしていくのかという所が問題になってくるのかなと思えます。</p> <p>要は今までと違うのは、教育委員会がやっている時は行政と市民のストレートな関係ですが、指定管理者の場合は管理者側での管理運営の意思決定も出てくるので、そこに市民もどのくらい参加できるのかという所を担保していく必要があると思えます。</p>
委員	<p>その他何かございますか。</p> <p>かいけつゾロリシリーズのように装丁が凝っている本に関しては、ビニールカバーやラベル添付の位置を考慮して頂けないでしょうか。</p>
伊藤館長	<p>当館ですぐに対応するようにします。</p>
委員長	<p>「弘前市立図書館・郷土文学館のあり方」そのものは重要だと思いますので、パブリックオピニオンを募集するなど、意見を募集してみてもいいのではないのでしょうか。「あり方」そのものについてももう少し広い範囲で議論してもいいと思えます。</p> <p>では、これをもって案件5を終了します。</p> <p>案件6に関して、事務局から何かございますか。</p>
柴田補佐 委員長	<p>ありません。</p> <p>事務局側からその他の案件はなしという事ですが、何かこの機会にと</p>

	<p>いう事でありませうか。</p> <p>では、これをもちまして平成28年度第1回弘前市立図書館協議会を閉会いたします。</p> <p>(館長あいさつ、事務局連絡 省略)</p>
--	--